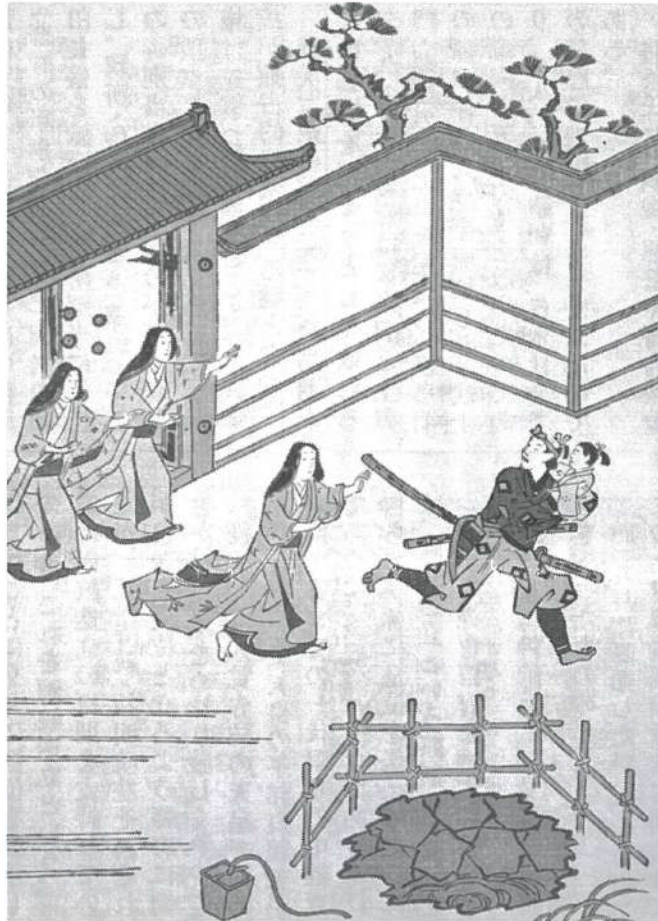


藤沢地名の会会報

第118号

2026年5月1日

藤沢地名の会



国会図書館「デジタルコレクション」『日本歴史図会 第11輯』

「亀寿(北条時行)を連れて逃げる図」

※藤沢地名の会でA-1を使って着色

地名講演会 講演要旨 (2025・10・25)

鎌倉幕府滅亡後の藤沢

— 中先代の乱を中心にして —

中世内乱研究会会長 鈴木 由美



鎌倉幕府と北条氏

鎌倉時代は、源頼朝が武士の政権である鎌倉幕府を開いたことから始まった。

頼朝は、父源義朝が平治の乱(平治元年「一一五九」)。以下、改元のあった年は原則として新元号で記す)で敗れたことにより、伊豆国田方郡蛭ヶ小島(静岡県伊豆の国市)に流罪となっていた。

はじめに

中先代の乱とは、鎌倉幕府滅亡から二年後の建武二年(二三三三)に、執権北条氏の当主(得宗と呼ばれる)北条高時の次男である北条時行が、鎌倉幕府再興のために後醍醐天皇の建武政権に対して起こした反乱である。

藤沢は、幕府滅亡後に北条一族やその家臣が起こした反乱や、中先代の乱そして時行にもゆかりのある地であった。

本稿では、中先代の乱と北条時行を中心にして、鎌倉幕府滅亡後の北条与党と藤沢とのかかわりについて述べる。

頼朝は平氏打倒を目指し治承四年(一一八〇)八月に伊豆で挙兵する。東国武士を味方につけて勢力を拡大した頼朝は、拳兵から約二ヶ月後の十月に父祖ゆかりの地鎌倉(神奈川県鎌倉市)に入った。朝廷から東国の支配権を承認され、武士の政権である鎌倉幕府が成立すると、頼朝は幕府の初代將軍となった。

頼朝が正治元年(一一九九)に死去した後、連続して起こった御家人たちの抗争を制し権力を握ったのは、頼朝の妻政子の父である北条時政とその子義時であった。

活動報告

《創立40周年記念式典・祝賀会》

十月二十五日(土)：参加者39名
 藤沢市長・鈴木恒夫氏(中途参加)、
 藤沢市生涯学習部長・井出祥子氏、
 地名講演会講師・鈴木由美氏、
 中世内乱研究会総裁・細川重男氏
 などをお迎えして開催
 (於)Fプレイス6F 3+3 CAFE

《第二回 地名講演会》

●第二百八十回例会
 『鎌倉幕府滅亡後の藤沢』
 中先代の乱を中心に
 講師：鈴木由美氏(中世内乱研究会会長)
 十月二十五日(土)：参加者85名
 (於)藤沢市Fプレイス・3Fホール

《地名映画会》

●第二百八十二回例会
 ①八百十年目の義経 義経の伝説
 ②地域社会の創造 藤沢市西部開発計画
 ③東洋のマイアミビーチ 江の島
 ④旧福原家長屋門
 一月二十五日(日)：参加者73名
 (於)藤沢市総合市民図書館ホール

《地名探訪》

●第二百八十一回例会
 『鵜沼・相模準四国八十八箇所』
 はじまりの地を歩く
 ～藤沢の民俗学の萌芽はここから～
 十一月十一日(火)：参加者35名
 十一月十五日(土)：参加者19名
 二日間合計54名

●第二百八十三回例会

『辻堂』のゆかりの地を巡る
 三月二十日(金)・祝：参加者30名
 三月二十四日(火)：参加者21名
 二日間合計51名

《ブラさがみ》

※すべて半日コース
 第九回 おとなの社会探訪①
 『国会議事堂参観・国立国会図書館・
 憲政記念館見学』
 九月二十四日(水)：合計28名
 第十回

『丹沢山麓に抱かれた歴史の里』
 秦野に憩う
 十月十七日(金)：参加者34名
 第十一回 おとなの社会探訪②
 『警視庁本部見学』
 & 秋季皇居乾通り一般公開
 十二月二日(火)：参加者27名
 第十二回

●第二百八十四回例会

『鎌倉最大の梅林十二所果樹園と
 朝夷奈切通を歩く』
 二月二十五日(水) 雨天中止

《古文書部会》

『八月を除く毎月第三木曜日』
 『市民活動推進センター(午後)』
 テキストは十二月まで『箱根七湯葉』
 一月より『新四国八十八箇所案内帖』
 メンバー19名

《地誌輪読会》

『一月を除く毎月第一日曜日』
 『湘南台市民センター談話室』
 午前 『伊勢太々講道中記』(15名)
 午後 『太平年表録』(10名)

●課外研修会

『神奈川宿』
 一月十八日(日)：参加者10人
 『小田原・満福寺火伏せ祭り』
 一月二十八日(水)：参加者8名

《特別企画・バスツアー》

『早春の伊豆を満喫しよう』
 ～かんなみ仏の里美術館から江川邸へ～
 三月九日(火)：参加者35名
 (※二月九日降雪により延期)

《第二十二回 地域活動見本市》

九月二十日(土)
 湘南シニアネットワーク主催の企画
 に四回目の出展と会員勧誘を実施

受贈書誌

- 日本地名研究所 第四十四回
 全国地名研究者遠野・三陸
 アイヌ語地名研究大会資料集
 『アイヌ語地名から探る暮らしと文化』
- 日本地名研究所通信 第百十～百一十一号
- 熊本地名研究会
 ・『熊本乃地名』(いずれもPDF)
 第二百八十七～二百九十三号
- 茅ヶ崎郷土会
 ・『郷土ちがさき』
 第百六十四～百六十五号
- 鵜沼を語る会
 ・創立50周年記念号 50年のあゆみ
 ・『鵜沼』 第百二十五号

藤沢地名の会 活動の告知や報告をしています。

●公式ホームページ ●公式 X(旧Twitter)




会長：佐々木 道雄

いいね、フォロー、リポスト
 よろしくお願ひいたします。